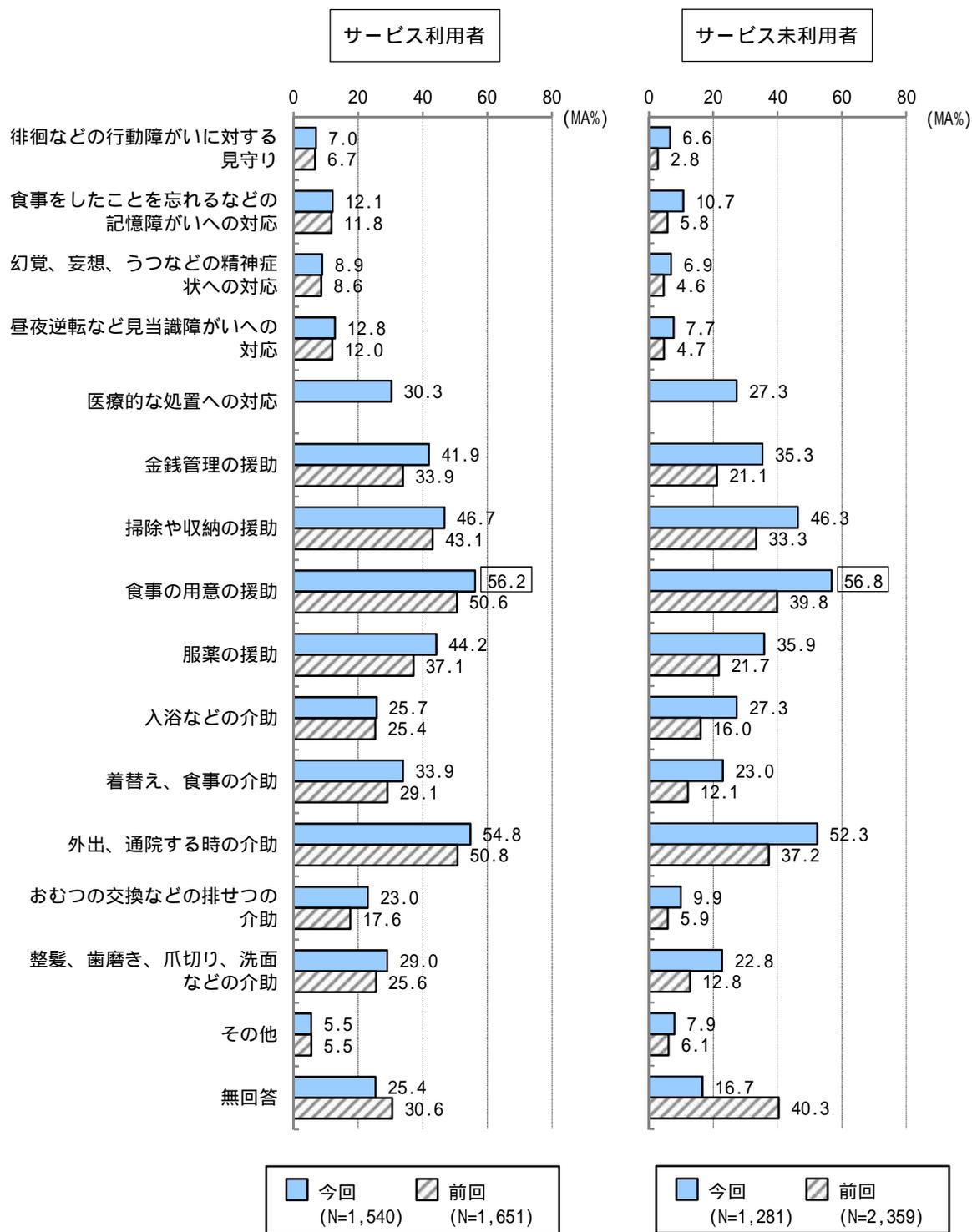


問21(20) 本人への介護内容

主な介護者は、ご本人に対し、どのような介護を行っていますか。(はいいくつでも)

【図21(20) 本人への介護内容】



前回調査には、「医療的な処置への対応」がなかった。

本人への介護内容について、サービス利用者・未利用者とも「食事の用意の援助」が最も多く、次いで「外出、通院する時の介助」、続いて「掃除や収納の援助」となっている。

前回調査と比較すると、サービス利用者は「金銭管理の援助」が8.0ポイント、「服薬の援助」が7.1ポイント増加し、サービス未利用者では「食事の用意の援助」が17.0ポイント、「外

出、通院する時の介助」が15.1ポイント増加している。(図21(20))

要介護度別でみると、サービス利用者では、要支援1・2と要介護4は「外出、通院する時の介助」、要介護1～3と要介護5では「食事の用意の援助」が、それぞれ最も多くなっている。また、要介護5では「服薬の援助」が続いて多くなっている。一方、サービス未利用者では、要支援1と要介護2は「外出、通院する時の介助」、要支援2と要介護1、要介護3～5では「食事の用意の援助」が、それぞれ最も多くなっている。また、要介護4～5では「金銭管理の援助」が続いて多く、要介護5は同率で「着替え、食事の介助」も多くなっている。(表21(20)-a)

【表21(20)-a 本人への介護内容(要介護度別)】

																	(MA%)		
		N	徘徊する見守り	食事をしたことを忘れるなどの記憶障害への対応	精神症状への対応	幻覚妄想、うつなどの対応	昼夜逆転など見当識障害への対応	医療的な処置への対応	金銭管理の援助	掃除や収納の援助	食事の用意の援助	服薬の援助	入浴などの介助	着替え、食事の介助	外出、通院する時の介助	おむつの交換などの介助	洗面などの介助	整髪、歯磨き、爪切り、その他	無回答
サービス利用者	要支援1	166	1.8	1.8	3.0	0.6	12.0	21.7	25.9	30.7	14.5	8.4	3.6	34.3	1.2	4.2	7.2	37.3	
	要支援2	205	0.5	3.9	3.4	2.4	15.6	22.4	44.4	44.9	18.0	18.5	8.8	45.4	4.4	11.7	7.3	27.8	
	要介護1	224	8.5	16.5	8.9	12.9	31.7	51.8	49.6	64.3	47.8	25.9	21.9	62.5	5.8	17.9	4.9	19.2	
	要介護2	271	5.5	10.0	9.2	10.0	32.8	45.0	52.0	61.3	48.3	35.4	36.2	60.1	15.5	26.9	3.7	21.8	
	要介護3	230	11.3	21.3	10.9	20.9	34.3	48.7	47.0	62.2	53.9	33.0	43.9	60.0	32.6	37.8	4.8	23.5	
	要介護4	198	9.6	13.1	11.1	18.2	36.4	46.5	51.5	58.1	55.1	23.7	51.5	62.6	41.4	45.5	3.0	26.8	
	要介護5	211	10.4	14.7	14.7	23.2	46.0	52.1	52.1	65.9	64.5	28.0	64.5	53.1	59.7	55.0	8.5	23.2	
	わからない	12	8.3	8.3	16.7	8.3	16.7	33.3	41.7	50.0	33.3	16.7	33.3	66.7	8.3	25.0	8.3	33.3	
サービス未利用者	要支援1	234	2.6	3.4	2.6	3.4	17.1	20.1	37.2	39.3	20.9	9.0	8.1	40.6	1.7	8.5	7.3	26.1	
	要支援2	245	3.3	3.3	2.4	1.6	22.9	25.3	48.2	60.8	20.8	21.6	13.5	50.2	3.3	15.9	4.9	11.8	
	要介護1	217	8.3	21.2	14.3	9.7	35.9	59.4	59.9	72.8	62.7	30.0	19.8	64.5	2.8	17.1	6.9	5.5	
	要介護2	193	6.7	14.0	9.8	10.4	40.9	48.7	58.5	74.6	50.3	51.3	43.0	75.6	15.5	38.3	3.6	6.2	
	要介護3	111	18.9	20.7	6.3	15.3	34.2	36.9	52.3	67.6	49.5	46.8	44.1	62.2	33.3	43.2	7.2	13.5	
	要介護4	82	4.9	7.3	8.5	9.8	25.6	34.1	30.5	37.8	25.6	25.6	25.6	32.9	18.3	35.4	22.0	25.6	
	要介護5	75	6.7	9.3	9.3	13.3	22.7	30.7	29.3	33.3	29.3	24.0	30.7	25.3	20.0	32.0	18.7	30.7	
	わからない	59	8.5	8.5	6.8	5.1	13.6	20.3	35.6	42.4	18.6	18.6	16.9	33.9	6.8	16.9	6.8	37.3	

本人との関係別でみると、サービス利用者では、“配偶者”や“子どもの配偶者”は「食事の用意の援助」、 “兄弟・姉妹”や“子ども”は「外出、通院する時の介助」、 “その他の親族”では「掃除や収納の援助」が、それぞれ最も多くなっている。一方、サービス未利用者では、“配偶者”や“子ども”、“子どもの配偶者”、“その他の親族”で「食事の用意の援助」が最も多く、“兄弟・姉妹”では「外出、通院する時の介助」が最も多くなっている。(表21(20)-b)

【表21(20)-b 本人への介護内容(本人との関係別)】

			(MA%)																	
		N	徘徊などの見守り	食事の記憶が忘れられる	精神症状への対応	幻覚、妄想、うつなどの	昼夜逆転など見当識障がいへの対応	医療的な処置への対応	金銭管理の援助	掃除や収納の援助	食事の用意の援助	服薬の援助	入浴などの介助	着替え、食事の介助	外出、通院する時の介助	おむつの交換などの介助	洗面などの介助	整髪、歯磨き、爪切り、	その他	無回答
サービス利用者	配偶者	471	8.7	11.7	8.9	13.4	31.2	44.2	46.1	66.7	54.1	37.8	48.0	63.9	31.2	39.7	5.1	11.3		
	兄弟・姉妹	36	8.3	5.6	13.9	5.6	33.3	55.6	58.3	61.1	44.4	19.4	36.1	66.7	16.7	30.6	8.3	2.8		
	子ども	571	7.7	17.7	10.9	18.7	42.9	57.3	63.7	70.4	56.0	28.7	38.7	70.9	27.7	33.8	7.9	8.9		
	子どもの配偶者	86	8.1	20.9	17.4	16.3	41.9	58.1	65.1	76.7	61.6	17.4	32.6	67.4	22.1	34.9	4.7	4.7		
	その他の親族	34	5.9	11.8	8.8	11.8	29.4	58.8	64.7	52.9	35.3	20.6	26.5	55.9	14.7	8.8	17.6	8.8		
	友人・知人	14	14.3	7.1	21.4	7.1	21.4	42.9	50.0	71.4	50.0	28.6	35.7	64.3	21.4	28.6	0.0	14.3		
	ボランティア	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	その他	3	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	44.4	44.4	33.3	22.2	33.3	33.3	22.2	22.2	0.0	33.3		
サービス未利用者	配偶者	577	7.6	9.7	6.2	8.0	29.5	32.8	44.7	60.3	38.3	31.0	28.8	55.5	10.6	26.7	8.0	11.1		
	兄弟・姉妹	31	0.0	3.2	0.0	3.2	32.3	35.5	35.5	51.6	22.6	25.8	25.8	58.1	9.7	12.9	9.7	9.7		
	子ども	473	5.5	13.1	7.8	9.7	29.4	44.6	57.3	62.6	40.4	28.3	20.5	58.1	10.4	24.1	9.5	9.7		
	子どもの配偶者	56	12.5	19.6	19.6	5.4	35.7	42.9	51.8	71.4	44.6	23.2	16.1	62.5	10.7	16.1	7.1	14.3		
	その他の親族	19	15.8	10.5	5.3	5.3	21.1	36.8	31.6	63.2	31.6	21.1	15.8	36.8	10.5	10.5	5.3	10.5		
	友人・知人	7	0.0	14.3	28.6	0.0	42.9	42.9	57.1	57.1	28.6	28.6	42.9	42.9	14.3	42.9	0.0	0.0		
	ボランティア	1	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0		
	その他	13	7.7	23.1	7.7	7.7	7.7	23.1	46.2	38.5	30.8	30.8	15.4	30.8	7.7	15.4	0.0	38.5		

本人の認知症の程度別でみると、サービス利用者では、“全く認知症を有しない”人は「外出、通院する時の介助」が最も多くなっている。“何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している”や“日常生活に支障が多少見られても誰かが注意していれば自立できる”、“日常生活に支障が見られ、介護を必要とする”人は「食事の用意の援助」が最も多くなっている。“日常生活に支障が頻繁に見られ、常に介護を必要とする”人は「服薬の援助」が最も多く、“妄想等の精神症状や重篤な身体疾患があり、専門医療を必要とする”人では「掃除や収納の援助」と「食事の用意の援助」が同率で最も多くなっている。一方、サービス未利用者では、“全く認知症を有しない”人や“何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している”、“日常生活に支障が多少見られても誰かが注意していれば自立できる”人は「食事の用意の援助」が最も多く、“日常生活に支障が見られ、介護を必要とする”人は「服薬の援助」が最も多くなっている。“日常生活に支障が頻繁に見られ、常に介護を必要とする”人と“妄想等の精神症状や重篤な身体疾患があり、専門医療を必要とする”人は「金銭管理の援助」が最も多く、“妄想等の精神症状や重篤な身体疾患があり、専門医療を必要とする”人では「食事の用意の援助」と「服薬の援助」も同率で最も多くなっている。(表21(20)-c)

【表21(20)-c 本人への介護内容(本人の認知症の程度別)】

(MA%)

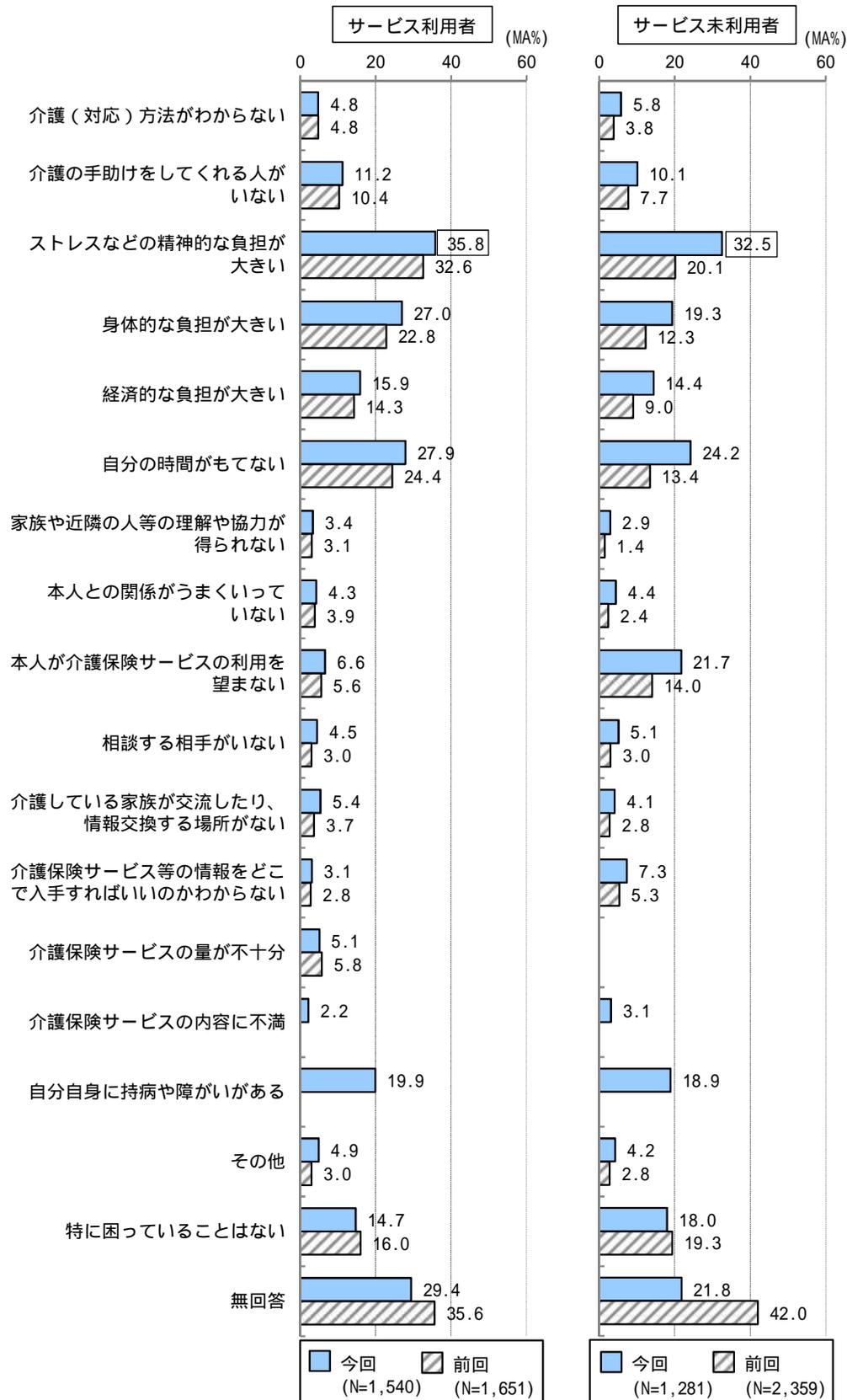
		N	徘徊などの行動障がいに対する見守り	食事をしたことを忘れるなどの記憶障がいへの対応	幻覚、妄想、うつなどの精神症状への対応	昼夜逆転など見当識障がいへの対応	医療的な処置への対応	金銭管理の援助	掃除や収納の援助	食事の用意の援助	服薬の援助	入浴などの介助	着替え、食事の介助	外出、通院する時の介助	おむつの交換などの排せつの介助	洗面などの介助	整髪、歯磨き、爪切り、その他	無回答
サービス利用者	全く認知症を有しない	394	2.5	3.0	2.5	3.3	28.2	37.6	48.7	57.9	33.5	24.1	28.7	60.7	16.8	25.4	7.9	14.0
	何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	332	3.0	6.6	5.7	5.4	30.4	49.7	57.5	68.7	48.5	27.1	31.3	67.8	19.3	25.9	4.8	7.5
	日常生活に支障が多少見られても誰かが注意していれば自立できる	170	11.8	24.1	18.8	26.5	48.2	72.4	67.6	80.0	78.8	37.1	47.1	74.1	27.6	34.1	8.2	2.4
	日常生活に支障が見られ、介護を必要とする	137	17.5	33.6	18.2	33.6	47.4	62.8	64.2	82.5	78.8	43.8	65.7	70.8	43.1	53.3	4.4	3.6
	日常生活に支障が頻繁に見られ、常に介護を必要とする	131	25.2	40.5	27.5	47.3	56.5	67.2	62.6	75.6	77.9	36.6	71.0	71.8	67.9	64.9	10.7	8.4
	妄想等の精神症状や重篤な身体疾患があり、専門医療を必要とする	27	29.6	37.0	51.9	37.0	63.0	66.7	77.8	77.8	74.1	63.0	70.4	74.1	55.6	66.7	3.7	3.7
サービス未利用者	全く認知症を有しない	476	2.9	1.1	2.7	1.5	20.6	25.8	46.0	58.2	21.6	26.9	19.7	51.5	5.5	20.0	9.5	12.0
	何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	296	2.7	10.5	5.7	3.4	32.1	39.9	50.3	64.5	44.9	25.0	19.9	60.8	6.4	21.6	6.8	6.4
	日常生活に支障が多少見られても誰かが注意していれば自立できる	174	13.8	26.4	12.1	16.1	42.5	56.3	61.5	75.9	58.6	32.2	28.7	66.1	12.1	25.3	5.2	4.0
	日常生活に支障が見られ、介護を必要とする	77	14.3	35.1	22.1	29.9	45.5	61.0	67.5	72.7	79.2	55.8	51.9	76.6	28.6	48.1	7.8	3.9
	日常生活に支障が頻繁に見られ、常に介護を必要とする	70	25.7	31.4	17.1	31.4	38.6	60.0	48.6	57.1	58.6	41.4	47.1	51.4	38.6	47.1	18.6	7.1
	妄想等の精神症状や重篤な身体疾患があり、専門医療を必要とする	23	30.4	26.1	34.8	30.4	30.4	39.1	30.4	39.1	39.1	17.4	21.7	21.7	21.7	26.1	21.7	21.7

(3) 介護上の問題

問22(21) 介護を行ううえで困っていること

主な介護者が、自宅での介護を行ううえで困っていることはどのようなことですか。
(はいいくつでも)

【図22(21) 介護を行ううえで困っていること】



介護を行ううえで困っていることについて、サービス利用者・未利用者の両介護者とも「ストレスなどの精神的な負担が大きい」が最も多く、次いで「自分の時間がもてない」となっている。これに続いて、サービス利用者の介護者は「身体的な負担が大きい」、サービス未利用者の介護者では「本人が介護保険サービスの利用を望まない」が多くなっている。

前回調査と比較すると、サービス利用者の介護者では、「ストレスなどの精神的な負担が大きい」が3.2ポイント増加、「身体的な負担が大きい」が4.2ポイント増加、「自分の時間がもてない」が3.5ポイント増加となっている。一方、サービス未利用者の介護者では、「ストレスなどの精神的な負担が大きい」が12.4ポイント増加、「身体的な負担が大きい」が7.0ポイント増加、「経済的な負担が大きい」が5.4ポイント増加、「自分の時間がもてない」が10.8ポイント増加、「本人が介護保険サービスの利用を望まない」が7.7ポイント増加となっている。(図22(21))

本人の認知症の程度別でみると、サービス利用者の介護者では、本人の認知症の程度に関わらず「ストレスなどの精神的な負担が大きい」が最も多くなっている。一方、サービス未利用者の介護者では、“全く認知症を有しない”人や“何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している”、“日常生活に支障が多少見られても誰かが注意していれば自立できる”、“日常生活に支障が見られ、介護を必要とする”人の介護者は「ストレスなどの精神的な負担が大きい」が最も多くなっており、“日常生活に支障が頻繁に見られ、常に介護を必要とする”人の介護者は「自分の時間がもてない」、「妄想等の精神症状や重篤な身体疾患があり、専門医療を必要とする」人の介護者では「身体的な負担が大きい」が、それぞれ最も多くなっている。(表22(21)-a)

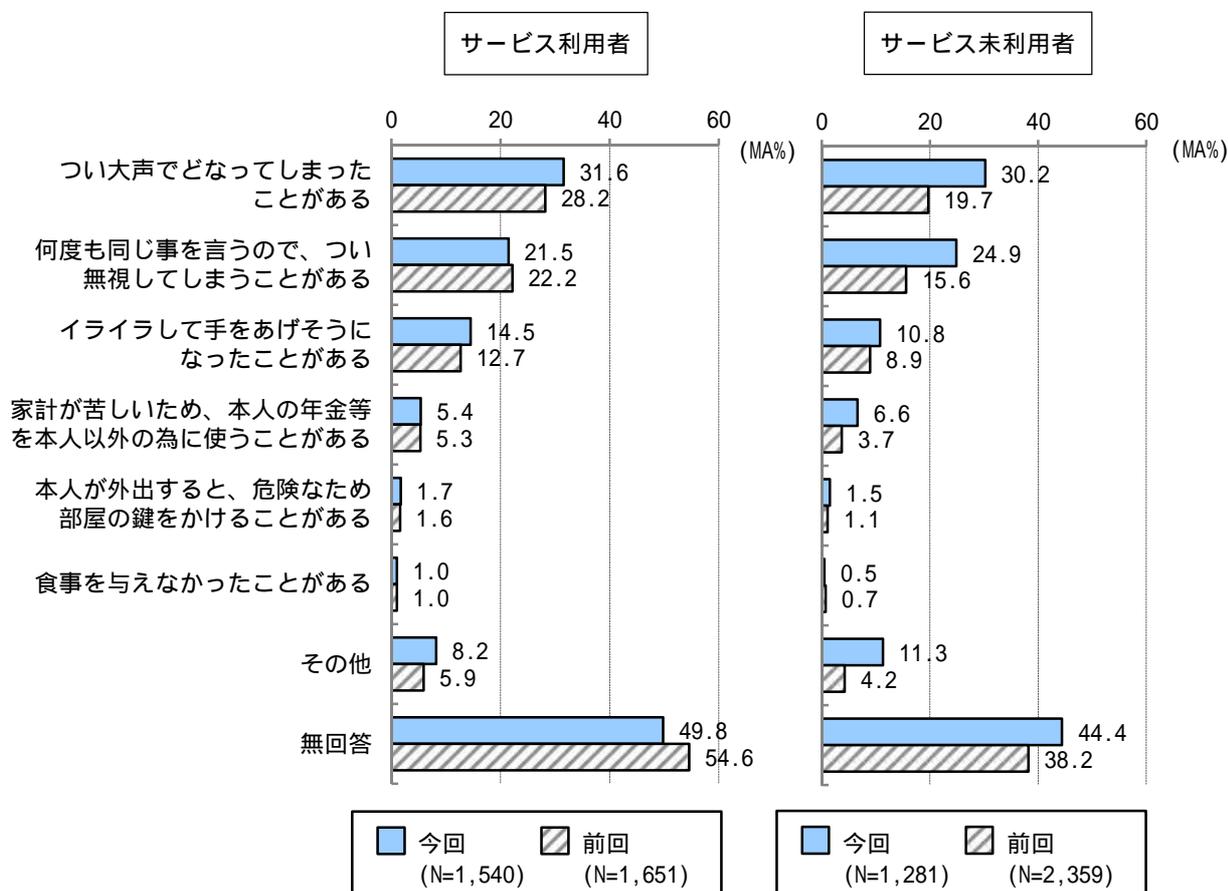
【表22(21)-a 介護を行ううえで困っていること(本人の認知症の程度)】

		N	介護(対応)方法がわからない	介護の手助けをしてくれる人がいない	ストレスなどの精神的な負担が大きい	身体的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	自分の時間がもてない	得られない家族や近隣の人の理解や協力が	本人との関係がうまくいっていない	本人が介護保険サービスの利用を望まない	相談する相手がいない	介護している家族が交流したり、情報交換する場所がない	介護保険サービスの量が不十分	介護保険サービスの内容に不満	自分自身に持病や障がいがある	その他	特に困っていることはない	無回答	
サービス利用者	全く認知症を有しない	394	3.6	6.3	24.9	20.8	14.2	22.6	1.5	2.0	5.3	3.0	3.6	3.3	4.8	1.8	17.0	4.1	30.7	17.3
	何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	332	5.4	13.6	42.2	29.5	17.8	28.9	4.5	6.9	8.1	6.9	5.4	2.7	4.2	2.7	22.0	7.5	18.7	12.0
	日常生活に支障が多少見られても誰かが注意していれば自立できる	170	8.8	11.8	54.1	32.9	18.2	44.1	4.7	11.8	15.3	4.7	11.2	3.5	7.1	2.9	29.4	5.3	10.6	11.8
	日常生活に支障が見られ、介護を必要とする	137	8.0	21.2	63.5	48.2	24.1	48.2	7.3	4.4	10.2	7.3	10.2	7.3	10.2	2.2	32.1	2.9	5.1	10.9
	日常生活に支障が頻繁に見られ、常に介護を必要とする	131	7.6	27.5	65.6	58.8	30.5	50.4	6.1	3.1	4.6	6.9	6.9	3.8	10.7	3.8	28.2	9.2	6.1	14.5
	妄想等の精神症状や重篤な身体疾患があり、専門医療を必要とする	27	14.8	25.9	66.7	40.7	40.7	48.1	3.7	7.4	7.4	11.1	18.5	11.1	7.4	7.4	37.0	11.1	0.0	22.2
サービス未利用者	全く認知症を有しない	476	3.4	7.1	23.9	13.7	13.7	18.3	1.9	1.9	13.2	3.2	3.2	6.1	2.9	14.9	3.6	31.1	17.4	
	何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	296	6.1	10.1	33.1	18.2	8.4	22.0	1.7	5.7	27.7	6.1	4.1	7.4	3.7	23.0	4.7	17.2	12.8	
	日常生活に支障が多少見られても誰かが注意していれば自立できる	174	7.5	13.2	60.3	33.3	20.1	36.8	3.4	7.5	43.1	4.6	5.7	10.3	2.9	25.3	3.4	8.0	6.9	
	日常生活に支障が見られ、介護を必要とする	77	15.6	26.0	58.4	35.1	27.3	50.6	9.1	7.8	37.7	10.4	9.1	10.4	5.2	33.8	10.4	3.9	3.9	
	日常生活に支障が頻繁に見られ、常に介護を必要とする	70	12.9	15.7	45.7	28.6	30.0	48.6	5.7	7.1	28.6	8.6	7.1	14.3	5.7	21.4	10.0	10.0	11.4	
	妄想等の精神症状や重篤な身体疾患があり、専門医療を必要とする	23	8.7	30.4	43.5	52.2	39.1	47.8	13.0	13.0	17.4	13.0	8.7	17.4	8.7	39.1	0.0	4.3	17.4	

問23(22) 介護者の虐待の有無

主な介護者が、自宅での介護を行ううえで、次のような状態になったことがありますか。
(はいいくつでも)

【図23(22) 介護者の虐待の有無】



介護者の虐待の有無について、サービス利用者・未利用者の両介護者とも「つい大声でどなってしまったことがある」が最も多く、次いで「何度も同じ事を言うので、つい無視してしまうことがある」、続いて「イライラして手をあげそうになったことがある」となっている。

前回調査と比較すると、サービス利用者・未利用者の両介護者とも「つい大声でどなってしまったことがある」が前回より増加しており、サービス未利用者では10.5ポイント増加している。(図23(22))

要介護度別で見ると、サービス利用者の介護者では、本人が要支援1、要介護1～5で「つい大声でどなってしまったことがある」が最も多く、本人が要支援2では「何度も同じ事を言うので、つい無視してしまうことがある」が最も多くなっている。また、「イライラして手をあげそうになったことがある」は、本人の要介護度が高くなるほど割合が高くなっている。一方、サービス未利用者の介護者では、本人の要介護度に関わらず「つい大声でどなってしまったことがある」が最も多くなっている。(表23(22)-a)

【表23(22)-a 介護者の虐待の有無(要介護度別)】

										(MA%)		
		N	う イ ラ イ ラ し て 手 を あ げ そ う な っ た こ と が あ る	が 食 事 を 与 え な か っ た こ と が あ る	ま つ つ い た 大 声 で ど な っ て し ま い た こ と が あ る	こ と が あ る 無 視 し て し ま う こ と が あ る	何 度 も 同 じ 事 を 言 う の で 、 つ い 無 視 し て し ま う こ と が あ る	な ん だ か が あ る 部 屋 の 鍵 を か け る こ と が あ る	本 人 が 外 出 す と 、 危 険 な こ と が あ る	に の 家 計 が 苦 し い た め 、 本 人 が 使 う こ と が あ る	そ の 他	無 回 答
サ ー ビ ス 利 用 者	要支援1	166	4.2	0.0	17.5	14.5	0.6	1.8	10.2	65.7		
	要支援2	205	6.3	0.5	17.6	19.0	1.0	2.9	9.8	60.0		
	要介護1	224	12.9	0.4	31.3	29.0	1.3	6.7	6.7	44.2		
	要介護2	271	13.3	0.4	37.3	25.1	1.5	4.8	7.7	46.1		
	要介護3	230	16.5	0.9	32.2	21.3	3.0	6.5	10.0	46.5		
	要介護4	198	21.2	2.0	41.9	18.2	1.0	7.6	3.0	48.0		
	要介護5	211	25.6	2.8	40.8	22.7	2.4	6.2	9.5	40.8		
	わからない	12	8.3	0.0	16.7	0.0	8.3	8.3	16.7	66.7		
サ ー ビ ス 未 利 用 者	要支援1	234	3.0	0.4	19.2	17.5	0.0	4.3	13.2	55.1		
	要支援2	245	6.1	0.4	23.7	22.0	0.0	5.7	10.2	49.8		
	要介護1	217	13.8	0.5	49.3	40.1	1.8	6.0	10.1	28.1		
	要介護2	193	14.5	1.0	36.3	29.0	1.0	9.3	11.4	36.8		
	要介護3	111	15.3	0.0	30.6	24.3	6.3	14.4	10.8	40.5		
	要介護4	82	11.0	0.0	22.0	12.2	1.2	4.9	13.4	52.4		
	要介護5	75	22.7	0.0	29.3	24.0	1.3	6.7	8.0	44.0		
	わからない	59	11.9	0.0	25.4	15.3	3.4	3.4	15.3	50.8		

介護者の性別でみると、サービス利用者・未利用者の両介護者とも「つい大声でどなってしまったことがある」が最も多くなっており、女性介護者に比べ、男性介護者のほうが割合は高くなっている。これに次いで「何度も同じ事を言うので、つい無視してしまうことがある」が多くなっており、男性介護者に比べ、女性介護者のほうが割合は高くなっている。(表23(22)-c)

【表23(22)-c 介護者の虐待の有無(介護者の性別)】

		N	うい にな イラ つた して こと 手 があ る そ	が食 事を 与え な かつ た こ と	ま つ つ た こ と が あ る し	こ と が あ る 無 視 し て し ま う の う	何 度 も 同 じ 事 を 言 う の う	こ な 本 人 が 外 出 す る と 、 危 険 な た め が あ る 部 屋 の 鍵 を か け る	に の 家 計 が 苦 し い た め 、 本 人 以 外 の 本 人 に 使 う こ と が あ る	そ の 他	(MA%) 無 回 答
サ ー ビ ス 利 用 者	男性										394
	女性	826	15.7	1.3	38.4	27.8	1.6	5.7	10.0	37.4	
未 サ ー ビ ス 利 用 者	男性	409	14.2	0.7	36.7	26.7	2.2	7.1	11.7	37.9	
	女性	759	10.3	0.4	30.6	27.1	1.3	7.1	12.4	41.2	

同居の有無別でみると、サービス利用者の介護者では、同居の有無に関わらず「つい大声でどなってしまったことがある」が最も多くなっているが、いずれの項目も同居している介護者のほうが割合は高くなっている。一方、サービス未利用者では、同居している介護者は「つい大声でどなってしまったことがある」、同居していない介護者では「何度も同じ事を言うのでつい無視してしまうことがある」が、それぞれ最も多くなっている。(表23(22)-d)

【表23(22)-d 介護者の虐待の有無(同居の有無別)】

		N	うい にな イラ つた して こと 手 があ る そ	が食 事を 与え な かつ た こ と	ま つ つ た こ と が あ る し	こ と が あ る 無 視 し て し ま う の う	何 度 も 同 じ 事 を 言 う の う	こ な 本 人 が 外 出 す る と 、 危 険 な た め が あ る 部 屋 の 鍵 を か け る	に の 家 計 が 苦 し い た め 、 本 人 以 外 の 本 人 に 使 う こ と が あ る	そ の 他	(MA%) 無 回 答
サ ー ビ ス 利 用 者	同居している										849
	同居していない	373	8.8	0.5	25.7	24.1	1.1	1.9	11.0	47.5	
未 サ ー ビ ス 利 用 者	同居している	906	13.1	0.6	36.5	28.3	1.5	7.6	11.7	37.5	
	同居していない	263	6.5	0.4	19.8	22.4	1.9	4.6	13.3	49.4	

本人の認知症の程度別でみると、サービス利用者・未利用者の両介護者とも「つい大声でどなってしまったことがある」が、認知症の程度に関わらず最も多くなっている。また、サービス未利用者の介護者では、「イライラして手をあげそうになったことがある」と「本人が外出すると、危険なため部屋の鍵をかけることがある」が、認知症の程度が重くなるほど上昇傾向にある。(表23(22)-e)

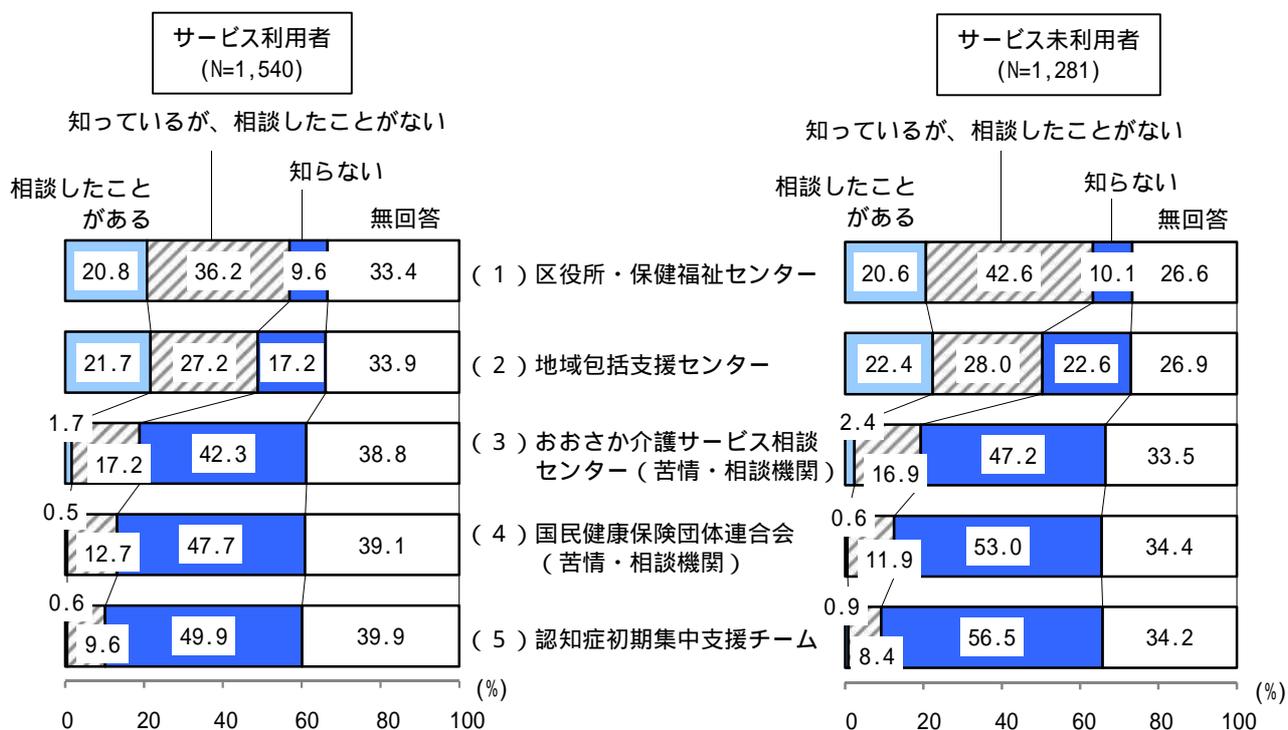
【表23(22)-e 介護者の虐待の有無(本人の認知症の程度別)】

			(MA%)									
		N	うに ライ にな イラ した こと が あ る そ	が食 事を 与え な か つ た こ と	ま つ つ い た 大 声 で ど な つ て し あ る	こ と が あ る 無 視 し て し ま う	何 度 も 同 じ 事 を 言 う の う	こ な た め が あ る 部 屋 の 鍵 を か け る	本 人 が 外 出 す と 、 危 険 な た め に 部 屋 の 鍵 を か け る	に の 家 計 が 苦 し い た め 、 本 人 が 外 出 す と 、 危 険 な た め に 部 屋 の 鍵 を か け る	そ の 他	無 回 答
サービス利用者	全く認知症を有しない	394	7.6	0.3	21.3	11.7	1.0	5.6	14.0	55.1		
	何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	332	14.2	0.9	41.0	26.8	0.6	6.0	8.4	36.7		
	日常生活に支障が多少見られても誰かが注意していれば自立できる	170	24.1	1.2	51.8	43.5	2.9	8.2	9.4	22.9		
	日常生活に支障が見られ、介護を必要とする	137	25.5	1.5	54.7	41.6	2.2	6.6	6.6	23.4		
	日常生活に支障が頻繁に見られ、常に介護を必要とする	131	39.7	2.3	52.7	29.8	7.6	6.9	8.4	29.8		
	妄想等の精神症状や重篤な身体疾患があり、専門医療を必要とする	27	33.3	11.1	55.6	44.4	7.4	11.1	11.1	22.2		
サービス未利用者	全く認知症を有しない	476	5.5	0.4	19.3	14.5	0.2	5.9	15.8	52.7		
	何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	296	10.5	0.7	35.1	28.7	0.7	6.1	12.5	34.8		
	日常生活に支障が多少見られても誰かが注意していれば自立できる	174	19.0	0.0	56.9	54.6	1.1	10.3	6.3	16.7		
	日常生活に支障が見られ、介護を必要とする	77	24.7	1.3	54.5	44.2	7.8	11.7	10.4	16.9		
	日常生活に支障が頻繁に見られ、常に介護を必要とする	70	28.6	1.4	41.4	35.7	8.6	8.6	14.3	27.1		
	妄想等の精神症状や重篤な身体疾患があり、専門医療を必要とする	23	34.8	0.0	47.8	30.4	8.7	13.0	4.3	39.1		

問24(23) 相談窓口等の利用状況

次の相談窓口等についての利用状況についておたずねします。(それぞれ はひとつ)

【図24(23) 相談窓口等の利用状況】

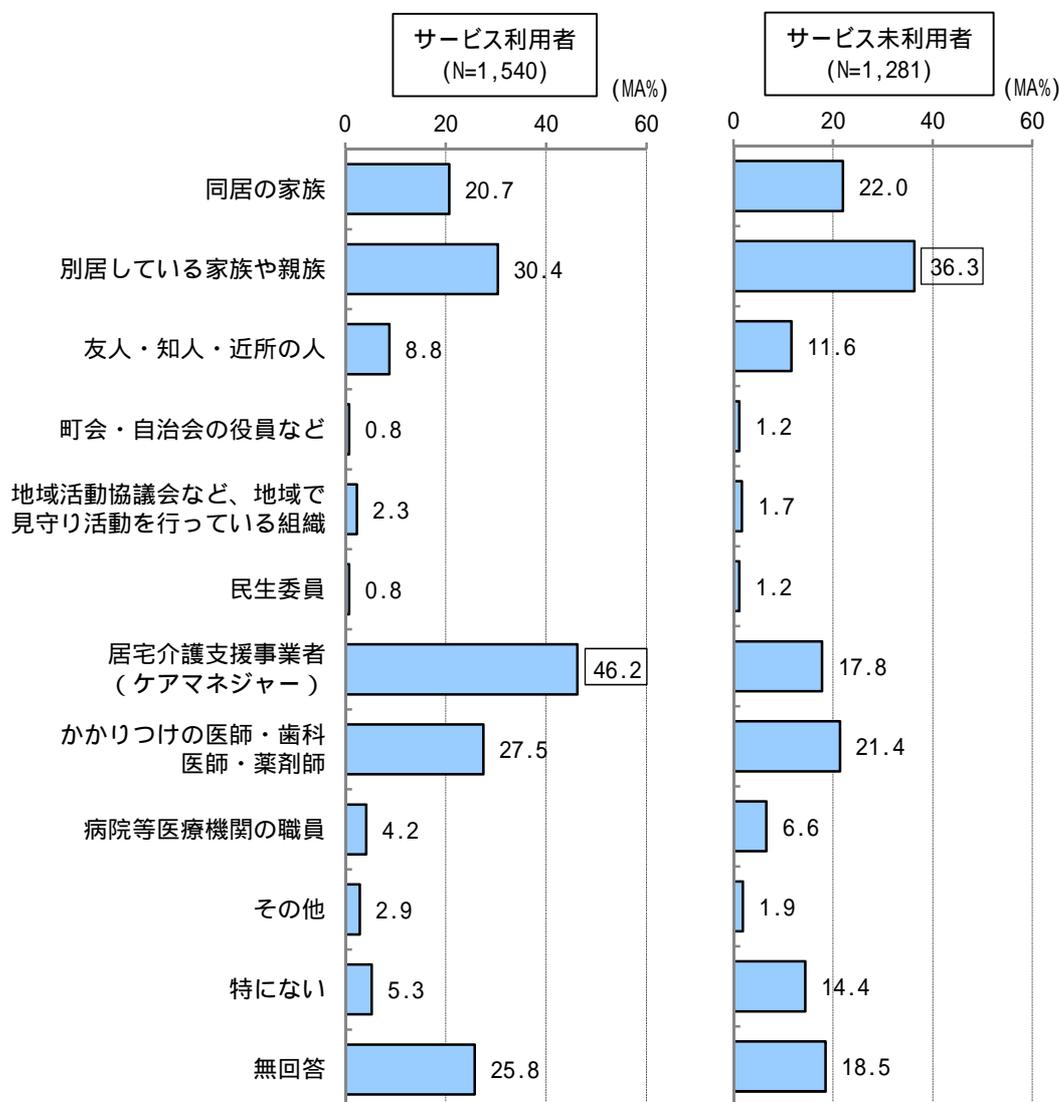


相談窓口等の利用状況について、サービス利用者・未利用者ともに、“(1) 区役所・保健福祉センター”と“(2) 地域包括支援センター”は「知っているが、相談したことがない」が最も多くなっており、“(3) おおさか介護サービス相談センター”や“(4) 国民健康保険団体連合会”、“(5) 認知症初期集中支援チーム”では「知らない」が半数前後を占めている。(図24(23))

問24-1(23-1) 介護を行ううえで困った時の相談先

問24(問23)の相談窓口以外で、主な介護者が、自宅での介護を行ううえで困った時はどちらに相談していますか。(はいくつでも)

【図24-1(23-1) 介護を行ううえで困った時の相談先】

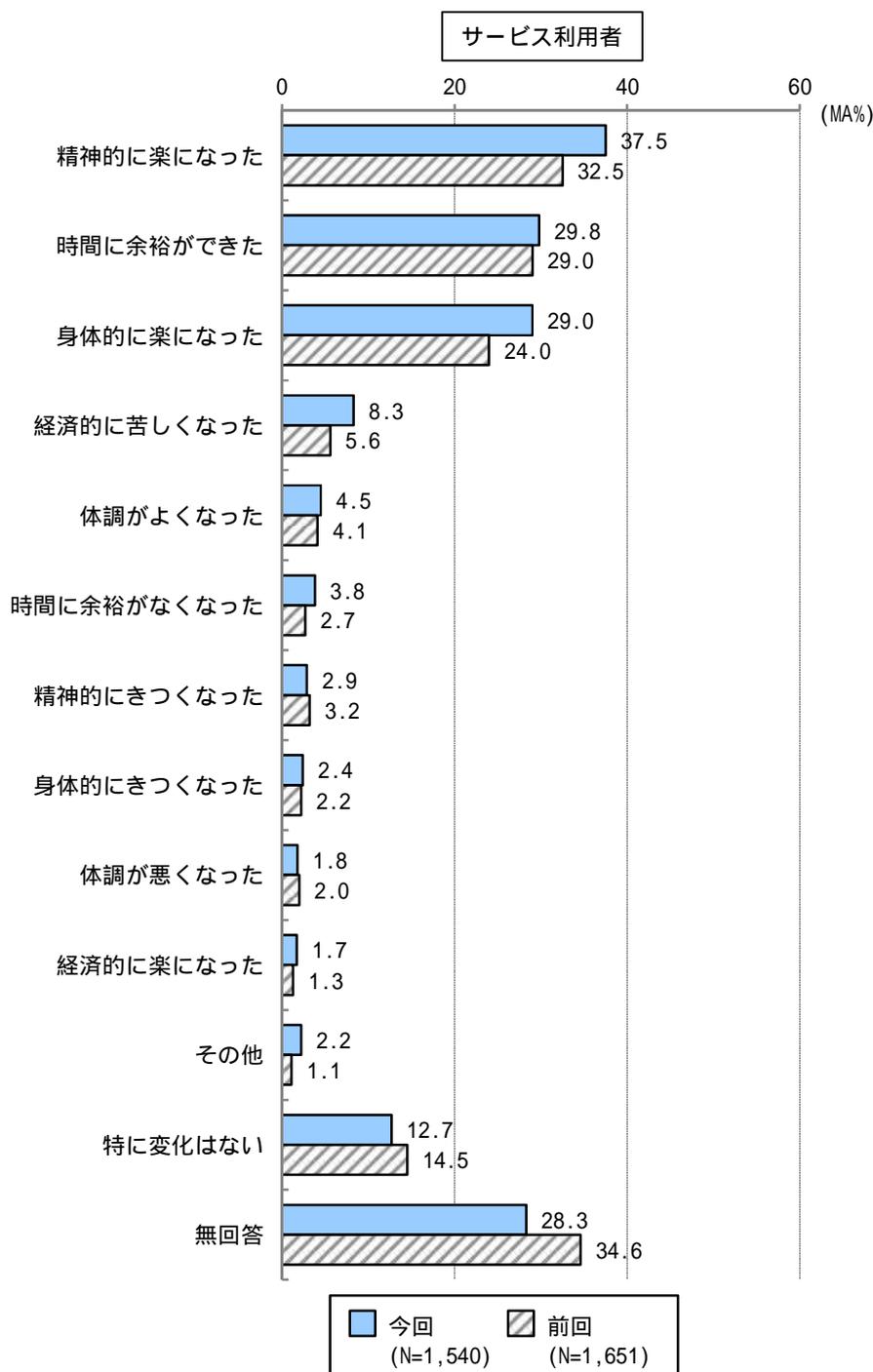


介護を行ううえで困った時の相談先について、サービス利用者では、「居宅介護支援事業者 (ケアマネジャー)」が46.2%で最も多く、次いで「別居している家族や親族」が30.4%、「かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師」が27.5%となっている。一方、サービス未利用者では、「別居している家族や親族」が36.3%で最も多く、次いで「同居の家族」が22.0%、「かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師」が21.4%となっている。(図24-1(23-1))

問25 介護保険サービスを利用することによる介護者の変化（サービス利用者）

ご本人が介護保険サービスを利用することによって、主な介護者にどのような変化がありましたか。（はいいくつでも）

【図25 介護保険サービスを利用することによる介護者の変化】



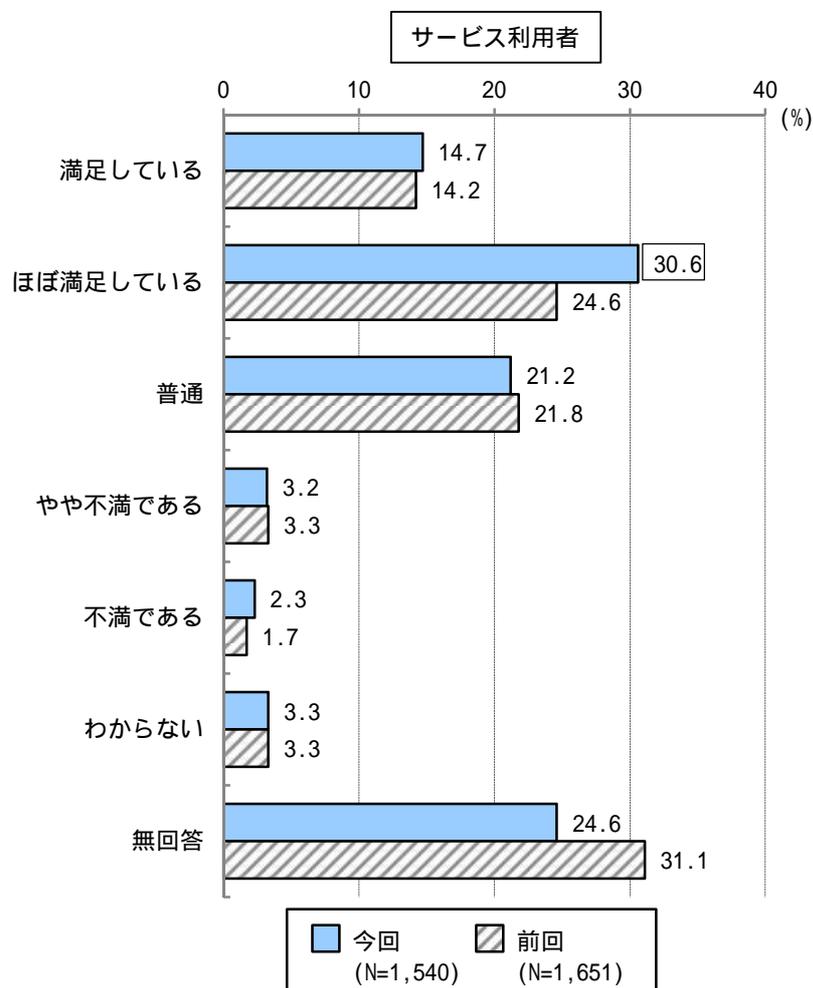
サービス利用者の介護者に、介護保険サービスを利用することによって、どのような変化があったかたずねると、「精神的に楽になった」が37.5%で最も多く、次いで「時間に余裕ができた」が29.8%、「身体的に楽になった」が29.0%となっている。

前回調査と比較すると、「身体的に楽になった」と「精神的に楽になった」がともに5.0ポイント増加しているが、「経済的に苦しくなった」は2.7ポイント増加している。（図25）

問26 介護保険サービスについての介護者の満足度（サービス利用者）

ご本人が利用している介護保険サービスについて、主な介護者の満足度をおたずねします。（はひとつ）

【図26 介護保険サービスについての介護者の満足度】



サービス利用者の介護者に、介護サービスの満足度をたずねると、「ほぼ満足している」が30.6%で最も多く、次いで「普通」が21.2%、「満足している」が14.7%となっている。また、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足』割合では45.3%を占めている。前回調査と比較すると、「ほぼ満足している」が6.0ポイント増加している。（図26）